

**令和 3 年度 第8号補正予算 主要な事業の説明書**

**(一般会計)**

**令和3年9月13日追加分 第3回 嬉野市議会定例会提出**



【様式1】

令和3年度 第8号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	3 民生費	項	4 災害救助費	目	1 災害救助費	事業名	令和3年8月豪雨災害被災者等支援事業(罹災見舞金・災害援護資金貸付金)				
総合計画による位置づけ			基本方針			ともに支え笑顔あふれるまちづくり		政策分野	④地域福祉・生活福祉			
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	予算書ページ	8	新規	○	継続		

1. 事業の目的・効果

罹災見舞金を支給することにより、生活再建の援助ができる。  
また、自然災害により被害を受けた世帯の世帯主に対し災害援護資金の貸付けを行うことにより、市民の生活の安定に資することができる。

2. 事業内容

災害等で罹災した世帯に被害の程度に応じて見舞金を支給する。  
災害救助法が適用される災害により、世帯主の方が負傷した場合や住居、家財に損害を受けた場合に、その世帯主に対して生活の再建に必要な資金を貸し付ける。

3. 全体計画		事業期間	令和 3 年度	～	令和 3 年度	事業費(千円)	20,000	4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
実施年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			内	容	補助	単独
事業内容					令和3年8月豪雨災害被災者等支援事業			扶助費	罹災見舞金		1,500
事業費(単位:千円)	補助率					20,000		貸付金	災害援護資金貸付金		18,500
財源内訳	国庫支出金										
	県支出金										
	市債					18,500					
	ふるさと応援寄附金										
	その他										
一般財源					1,500						
								計			20,000

5. その他参考となる事項

<p>○罹災見舞金(居住している住居に限る)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全焼・全壊・流失(1世帯100,000円) 100,000円×1世帯=100,000円</li> <li>・半焼・半壊・半流失(1世帯50,000円) 50,000円×10世帯=500,000円</li> <li>・床上浸水(1世帯30,000円) 30,000円×20世帯=600,000円</li> <li>・床下浸水(1世帯10,000円) 10,000円×30世帯=300,000円</li> </ul>	<p>○災害援護資金貸付金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家財の1/3以上の損害 1,500,000円×5世帯=7,500,000円</li> <li>・住居の半壊 1,700,000円×5世帯=8,500,000円</li> <li>・住居の全壊 2,500,000円×1世帯=2,500,000円</li> </ul>	<p>・所得要件 世帯の総所得金額が、下記の金額未満の世帯</p> <table border="1"> <tr> <td>世帯数</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>3人</td> <td>4人</td> <td>5人以上</td> </tr> <tr> <td>総所得金額</td> <td>220万円</td> <td>430万円</td> <td>620万円</td> <td>730万円</td> <td>世帯人数が1人増えるごとに730万円に30万円を加えた額</td> </tr> </table> <p>※住宅全体が滅失した場合は世帯人数に関係なく、1,270万円未満</p>	世帯数	1人	2人	3人	4人	5人以上	総所得金額	220万円	430万円	620万円	730万円	世帯人数が1人増えるごとに730万円に30万円を加えた額	<p>・償還期間 10年(据置期間を含む)</p> <p>・据置期間 3年間</p> <p>・償還方法 年賦、半賦または月賦、元利均等償還(繰上償還可)</p>
世帯数	1人	2人	3人	4人	5人以上										
総所得金額	220万円	430万円	620万円	730万円	世帯人数が1人増えるごとに730万円に30万円を加えた額										
		<p>・貸付利率 連帯保証人を立てる場合は、無利子 連帯保証人を立てない場合は、1.0%</p>													

【様式1】 令和3年度 第8号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	8 環境衛生費	事業名	環境衛生整備事業					
総合計画による位置づけ							基本方針	自然と調和、快適住生活のまちづくり			政策分野	④ごみ・環境保全	
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	環境下水道課		予算書ページ	9	新規	継続	○		

1. 事業の目的・効果

住民の身近な生活環境を整備し、公衆衛生の向上を図る。

2. 事業内容

住民の身近な生活環境を整備し、公衆衛生の向上を図るため、集落内の下排水路、生活道舗装整備およびごみ箱設置に対し、原材料費の50%以内を補助する。  
8月豪雨災害に係る行政区の復旧工事については、各原材料費の補助金補助率を現行50%より80%に加算。

3. 全体計画	事業期間	平成 30 年度	～	令和 3 年度	事業費(千円)	3,477
実施年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
事業内容	生活環境整備への補助	生活環境整備への補助	生活環境整備への補助	生活環境整備への補助		
事業費(単位:千円)	補助率	543	158	696	2,080	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
一般財源		543	158	696	2,080	

4. 本年度の事業費内訳	予算額(単位:千円)
内 容	補助 単独
負担金、補助及び交付金	700
下排水路整備、生活道舗装整備・ごみ箱設置補助	
【今回追加補正】	1,380
8月豪雨災害に係る復旧工事補助	
下排水路整備 4件 780,000円	
生活道舗装整備 4件 600,000円	
計	2,080

5. その他参考となる事項

当初予算事業費	700千円
8号補正事業費	1,380千円
(補正財源内訳)	
一般財源	1,380千円
補正後事業費	2,080千円

【様式1】

令和3年度 第8号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	2 塵芥処理費	事業名	県西部広域環境組合災害等廃棄物処分費					
総合計画による位置づけ			基本方針			自然と調和、快適住生活のまちづくり			政策分野			④ごみ・環境保全	
実施主体		市	所属部	建設部	所属課	環境下水道課	予算書ページ	10	新規	○	継続		

1. 事業の目的・効果

令和3年8月豪雨災害で発生した災害廃棄物について適正な処理を行う。

2. 事業内容

令和3年8月豪雨災害で発生した災害可燃廃棄物についてさが西部クリーンセンターにて処分を行う。

3. 全体計画		事業期間 令和 3 年度 ~ 令和 3 年度				事業費(千円)	4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
実施年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		内	容	補助	単独	
事業内容					災害廃棄物処分	負担金, 補助及び交付金	【今回補正】 321,000円		321	
事業費(単位:千円)					321	負担金				
財源内訳						さが西部クリーンセンター(県西部広域環境組合)				
国庫支出金						災害可燃物処分費				
県支出金										
市債										
ふるさと応援寄附金										
その他										
一般財源					321	計			321	

5. その他参考となる事項

さが西部クリーンセンター(県西部広域環境組合) 災害可燃物処分費 21,340円×15t = 320,100円

【様式1】

## 令和3年度 第8号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	4 衛生費	項	3 上水道費	目	2 上水道総務費	事業名	豪雨災害支援事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		自然と調和、快適住生活のまちづくり			政策分野	⑤上水道			
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	環境下水道課		予算書ページ	11	新規	○	継続

## 1. 事業の目的・効果

令和3年8月豪雨の被災者の上水道使用料を減免することで、被災者の生活再建を図る。

## 2. 事業内容

令和3年8月豪雨の被災者へ上水道使用料減免を市独自で行うため、佐賀西部広域水道企業団へ補償を行う。

3. 全体計画		事業期間		令和 3 年度		～ 令和 3 年度		事業費(千円)		829	
実施年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	企業団への補償				予算額(単位:千円)	
事業内容										補助	単独
事業費(単位:千円)						829					
財 源 内 訳	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
	ふるさと応援寄附金										
	その他										
一般財源						829					

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内	容	補助	単独
補償、補填及び賠償金		【今回補正】829,000円	
	佐賀西部広域水道企業団へ補償		829
計			829

## 5. その他参考となる事項

佐賀西部広域水道企業団 補償費 828,650円  
(内訳)  
被災事業所 @1,910円×15事業所×1か月=28,650円  
被災者 @4,000円×30人×3か月=360,000円  
避難者(大舟) @4,000円×33人×3か月=396,000円  
避難者(南下) @4,000円×11人×1か月=44,000円





【様式1】

令和3年度 第8号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	9 消防費	項	1 消防費	目	5 災害対策費	事業名	令和3年8月豪雨災害土砂等撤去事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		助け合う安全・安心のまちづくり			政策分野	①消防・防災			
実施主体	その他	所属部	行政経営部	所属課	総務・防災課		予算書ページ	13	新規	○	継続

1. 事業の目的・効果

国、県の補助対象とならない小規模災害の早期復旧を支援することを目的とする。

2. 事業内容

令和3年8月豪雨により被災した法定外公共物及び墓地並びに集会施設等に流入し、又は堆積した土砂等の撤去作業を支援するため、補助金を交付する。

3. 全体計画	事業期間	令和 3 年度	～	令和 3 年度	事業費(千円)	6,900
実施年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
事業内容				令和3年8月豪雨災害土砂等撤去事業		
事業費(単位:千円)	補助率				6,900	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
一般財源					6,900	

4. 本年度の事業費内訳	予算額(単位:千円)	
内	容	補助 単独
負担金、補助及び交付金	(補助金)市単独助成金	6,900
	500,000円×3件=1,500,000円	
	200,000円×5件=1,000,000円	
	100,000円×20件=2,000,000円	
	80,000円×30件=2,400,000円	
	計	6,900

5. その他参考となる事項

事業実施主体・・・行政区・地域コミュニティ運営協議会・地縁団体・自治会  
 対象となる事業・・・土砂の撤去費用(6万円以上の事業)  
 対象となる施設等・・・里道・水路・墓地・公民館・グラウンドなど

1事業当たり、6万円以上で100万円を上限とし、1,000円未満の端数は切り捨てる。  
 対象経費の80パーセント以内を補助。最大80万円